

東京江東ロータリークラブ

2020～2021年度 テーマ

Vol. **59**

No. **9**

第2803例会
2020年9月8日号

Rotary Opens Opportunities
ロータリーは機会の扉を開く
RI会長 ホルガー・クナーク 地区ガバナー 野生司義光

この街を愛することからはじめよう
～ One Step Ahead ～
クラブ会長 平手 克治

今日の卓話

ガバナー公式訪問
第2580地区ガバナー
野生司 義光氏(東京小石川RC)

次回例会案内

退会挨拶
犬塚 邦彦会員
(代読:大島幹事)

E-mail:koto.rc@sweet.ocn.ne.jp http://www.koto-rotary.jp

例
会
報
告

8/4 訂正出席率 100%
9/1 会員数18名中13名
出席率100%(76.64%)
ゲスト(1名)
黒木 じゅん氏(歌手)



会長・幹事報告

- ・本日、9月度定例理事会報告
- ・2020年9月のロータリーレートは1ドル＝106円です。
- ・8/27(木)一般財団法人 比国育英会バギオ基金 第12期第1回理事会に鈴木会員が出席しました。
- ・9/3(木)第3回RYLA委員会(ZOOM)に小野RYLA委員が参加します。
- ・配布物:ロータリーの友9月号

<委員会報告>

- ・鈴木地区委員より:地区状況報告

ニコニコボックス



- ・平手会長:黒木様、どうぞ楽しんでってください。
- ・小嶋副会長:今月7日で66歳になります。よろしくお願いいたします。
- ・大島幹事:大澤秀利さん、卓話よろしくお願いいたします。
- ・菅澤君:ロータリーに入会して49年、長い間お世話になり48年のバッチを頂けるようになりました。
- ・鈴木君:理事会に欠席して申し訳ありません。大澤秀利さん、お話を楽しみにしています。
- ・大澤秀利君:本日卓話をさせていただきます。よろしくお願いいたします。
- ・小野君:大澤秀利さんの卓話楽しみにしております。
- ・大澤栄一君:大澤親分、破天荒な話を楽しみにしています!
- ・河西君:本日もよろしくお願いいたします。
- ・板倉君:黒木様ようこそ。皆様今度もよろしくお願いいたします。
- ・堀君:本日もよろしくお願いいたします。

合計 53,000円
累計 412,000円

シニアイニシエーションスピーチ 「私と奉仕活動」



大澤 秀利会員

前回は、イースト21の生立ちや初めに入った会社が倒産したことなど、私のサラリーマン人生をお話したので、今回は、皆さまあまり馴染みのない私が住んでいる国分寺市での事をお話したいと思っています。

現在私が国分寺で行っているのが、少年野球のお手伝いと、知的障害者施設AnnBeeへのお手伝いです。

来年45年目を迎える国分寺ナンバーワンプレイヤーズというチームで、子どもの入団と共に22～23年お手伝いをしており、5代目の代表で、2010年から2016年まで7年間代表・監督をしていました。私自身は、投げれない、守れない、打てない三拍子揃ったお手伝いでしたが、人事の怖さで監督を引き受けさせられてしまいました。

野球の話も、いろいろありますが、今回は、ロータリーの皆さんにいろいろとお世話になっているAnnBeeとの係わりをお話したいと思っています。まず、私が、福祉活動に関心を持つようになったのは、家内が子どもの小学校で、障害者学級の支援グループの代表をしていたのが始まりのような気がします。
(裏面へ)

事務局は午前10時から午後4時まで、囲碁や将棋・談話室として利用できます。掲示板も活用してください。

●例会場/東京都江東区東陽6-3-3 ホテルイースト21東京内 TEL:03(5683)5683 ●例会日/毎週火曜日 12時30分～1時30分
●事務局/東京都江東区東陽6-3-3 ホテルイースト21東京内 TEL:03(5632)3777 FAX:03(5632)3737



シニアイニシエーションスピーチ

また、長女が幼稚園や小学校でハンデをお持ちの同級生と、運動会や遠足など、いろいろな学校行事の時に世話をしていたことを目の当たりにしたのも、きっかけの一つだと思います。

家内がその後、子どもたちの世話から解放され、少し時間が取れるようになったところ、友人が立ち上げた障害者支援グループの放課後支援をお手伝いするようになりまし。

障害のある皆さんは、学校が終わるとご家庭に帰るわけですが、一人で時間を過ごすことが非常に難しく、夕飯までの間、何かする場所が必要であり、その場所をこのグループが提供していました。このグループがAnnBeeへと発展していきました。

このAnnBeeは出来たばかりで、まだNPO法人にもなっていませんので、場所を提供するといっても、お金もなく、学校の放課後の体育館を借りたり、その他のプールなど公共施設を借りて運営していました。

このAnnBeeは、国分寺市で活動していますが、市内の小中学校はもちろん、高校レベルになると、他の市に通学している方もあり、それらの皆さんを迎えに行き、活動の場まで連れてくることも大事な仕事でした。

当然その当時は、私は会社があり、お手伝いは家内がしていました。一人で何人もの利用者を引き連れてくることもあり、時間が取れる時に少し送り迎えなどのお手伝いをしていました。

障害をお持ちの方がいるご家庭は、障害のある方が学校などにいる時間は、ほっとすることが出来ませんが、それ以外のご家族でお話し、休まるとご家族が休めるよう、週に何日か夕食を食べて、お泊りが出来るアパートを借りて運営もしていました。

泊まって世話をするのは、主に大学生の皆さんにお願いをしており、長女も駆り出されていましたが、夕食を作る人が必要であり、その夕食5~6食を週2~3日、家人が作っていた時もありました。

このころ、夏休みに奥多摩の川遊びに利用者の皆さんを連れて行くという話があり、スタッフの皆さんは利用者のお世話で忙しく、お昼の焼きそばを作る人がいないということで、少年野球で鍛えられたバーベキューの腕を買われ、焼きそばを焼く鉄板を持って、車でお手伝いに行った思い出もあります。

このAnnBeeも、利用者やスタッフが増え、人や物の移動には是非自動車が欲しいということになり、ちょうど私自身も自分の車の買い替えを考えていたので、野球で利用していた8人乗りのルンバを寄付しました。その車はもうありませんが、現在でも同じナンバーの車が今も一台あります。買えかえる時に同じナンバーを申請しています。ちなみにナンバーは、7648でした。

障害をお持ちの小学生も、いつまでも小学生ではありません。高校レベルまでは、就学施設がありますが、18歳を過ぎると行き場がなくなってしまうのが現実です。就労する場合は、現実にはなかなか難しいものがあります。

このグループでは、長年面倒を見てきた皆さんを放り投げることは出来ない、そのための受け入れ施設を作ろうということで、NPO法人AnnBeeが2005年8月に設立され、2015年7月に社会福祉法人となり、現在に至っております。

親御さんは、いつまでも生きて行けるわけではありません。親御さんが亡くなった後も自ら生活する場が必要であり、そのためのアパートを自ら作り、サブレなどを作る多機能型事業所を現在運営しています。

家内は、現在、社会福祉法人の理事としてお手伝いをさせていただき、私は、2017年にAnnBee後援会を作り、勝手に会長を名乗っています。

これまで後援会としては、多くの会員の皆さまの協力を頂き、2017年には後援会第一弾の事業として、AnnBee祭に、わざわざ江東区から大塚部屋の皆さんにお出で頂いてのちゃんこ販売を行い、その後、餅つき用臼の贈呈、テントの贈呈、駐車場の整備、音響設備の贈呈など行ってきました。

平手会長には、当初から後援会会員になって頂き、協力をしていただいております。

また、江東ロータリークラブには、私が会員になってから、いろいろな場で大口利用者としてAnnBeeのお菓子を利用していただき、感謝しております。

AnnBeeのお手伝いをしている中で、大変良い経験もさせていただきました。2019年2月の平成最後の年に、AnnBeeの皆さんと皇居勤労奉仕に4日間参加させていただきました。

3日間は皇居で庭掃除などを行いながら、一般の方は中に入れない、吹上御所や宮中三殿、そして一般参賀で皆さんが良くテレビで見る宮殿の内側などまで見せていただき、最後の1日は東宮御所で勤労奉仕を行いました。即位の礼などで飾られる樹齢何百年という盆栽なども見ることが出来ました。

15名以上が一団で、毎日朝8時には皇居に集合し、他の多くの団体と一緒に作業をし、平成天皇陛下・皇后陛下や皇太子殿下からの、労いのお言葉を直接いただきました。ご言葉を頂上し、30分位、皆さん静かにお待ちしていました。

4日目に東宮御所に行きましたが、担当者が車に許可書を忘れてしまい、許可書がないと絶対に入ることが出来ませんので、担当者が取りに帰るとともに、我々一行は何はともあれ赤坂に向かい、現地で待ちました。他の団体がさっさと中に入り、我々だけが残されたがギリギリセーフで、なんとか中に入ることが出来ました。

また、昨年9月には、利用者の皆さん20名位と一泊二日の仙台研修旅行に参加させてもらいました。一日目は、3グループに分かれて葉城などの市内見学を行い、二日目は、普段一般人が行かない松島を全員で歩いて散策しました。ガイドブックにはない御朱走松島というガイド付きツアーで、このグループは良く歩くとトライアスロンをやっている女性ガイドさんから感心されました。利用者の皆さんと寝食を共にした、本当に楽しい一時でした。

このコロナ騒ぎがなければこの9月に佐渡へ行く予定でしたが、残念ながら延期されてしまいました。次回参加できるのを楽しみにしています。

さて、楽しいお話をさせていただきましたが、現実には簡単ではありません。

私は、後援会の会長と同時に、第三者委員会の委員もしております。利用者サイドや職員サイドから、いろいろなクレームが直接、または行政などに寄せられることがあります。良かれなど思っている行動も、他者からは、パワハラなどと取られてしまうことが、普通の会社などより多いように感じています。より相手の立場を理解する必要性を痛感しています。

スタッフの皆さんは大変かもしれませんが、私自身は、何はともあれ、利用者の皆さんと一緒に行動することは楽しいです。それぞれ個性には遠くからでは分かりません。一緒に行動することで少し理解できるかなと思っています。これからも、できる範囲でお手伝いをしていくつもりですので、ご協力の程宜しく願いいたします。